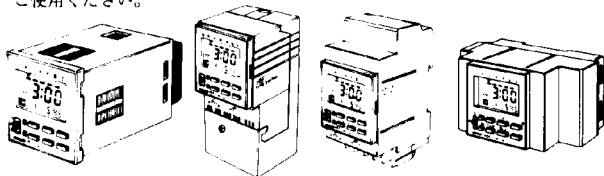


取扱説明書

オムロン製品をお買いあげいただきありがとうございます。この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をお読みになり、十分にご理解してください。お読みになった後も、いつも手元に置いてご使用ください。



オムロン株式会社

0648482-9E

安全上のご注意

ご使用に際してのお願い

●警告表示の意味



誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

●警告表示



分解、加圧変形、100℃以上の加熱、焼却はしないでください。リチウム電池を内蔵しており、発火・破裂・燃焼の恐れがあります。



端子に触れたり、分解しないでください。感電の恐れがあります。



次に示すような条件や環境で使用する場合は、定格、機能に対して余裕を持った使い方やフェールセーフなどの安全対策へのご配慮をいただくとともに、当社営業担当者までご相談してください。

①取扱説明書に記載のない条件や環境での使用

②原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器などへの使用

③人命や財産に大きな影響が予測され、特に安全性が要求される用途への使用

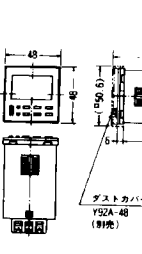
INDEX

1 寸法図と取付寸法	1	3 特定の曜日だけ、設定動作のうちの一部の動作をさせる	15
2 配線方法	3	10 設定した内容を確認する	17
3 各部の名称	4	11 設定した内容を取り消す	18
4 設定例	6	12 モードの切替について	19
5 時刻を合わせる	7	13 設定上のご留意	20
6 普通のタイマ動作をさせる	9	14 お使い・正しい使い方	21
7 日渡りのタイマ動作をさせる	11	15 定格・性能	22
8 短時間出力のバルス動作をさせる	13	16 設定内容の記録(メモ)	22

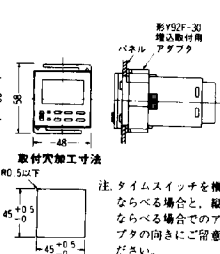
1 寸法図と取付寸法

■埋込取付形 (H5F-A)

●寸法図

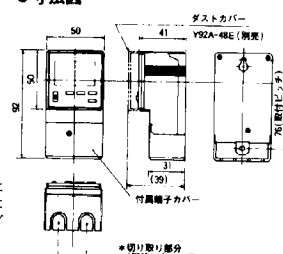


●取付寸法

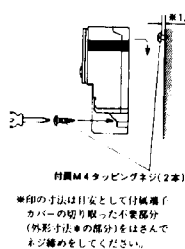


■表面取付形 (H5F-FA)

●寸法図

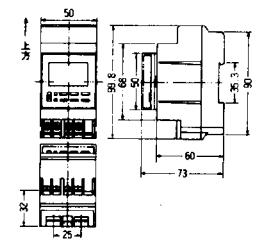


●取付方法

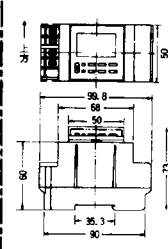


■分電盤用協約形

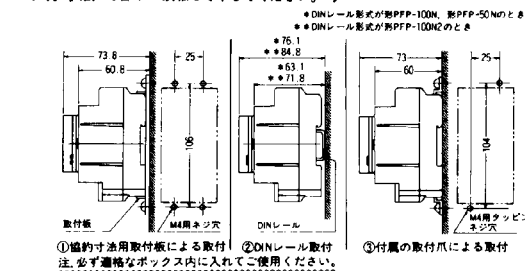
●寸法図 (H5F-KA)



(H5F-KAL)

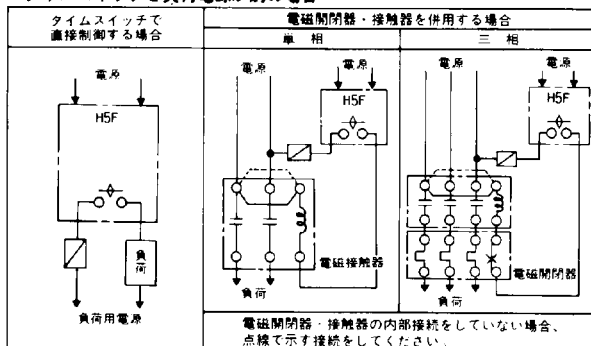


●取付寸法 (H5F-KAの場合を示す。-KALの場合含は90°回転して準じてください。)

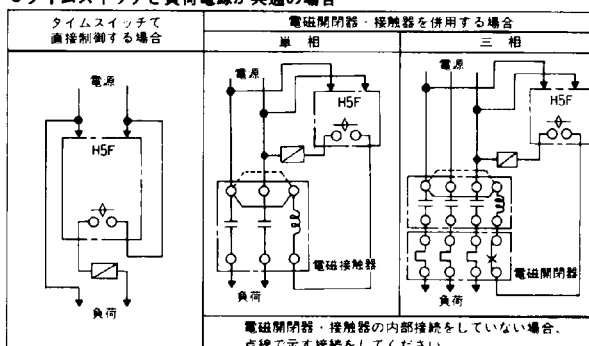


2 配線方法 (14 項の「お願い」「正しい使い方」を必ずご一読の上、正しく設置・配線ください)

●タイムスイッチと負荷電源が別の場合



●タイムスイッチと負荷電源が共通の場合



各部の名称

■ 操作部

● **「タイマ/パルス」** キー
「タイマ動作、パルス動作」の切替えをします

● **「出力」「入」「切」** スイッチ
入：設定内容に関係なく出力をONします。
自動：設定内容に従って出力します。
切：設定内容に関係なく出力をOFFします。

● **「消去」** キー
「設定内容の消去および、動作曜日指定を初期化します」

● **「モード」** キー（操作モードの切替えをします。）
くわしくは19ページ

● **「時」** キー（「時」を設定します。）

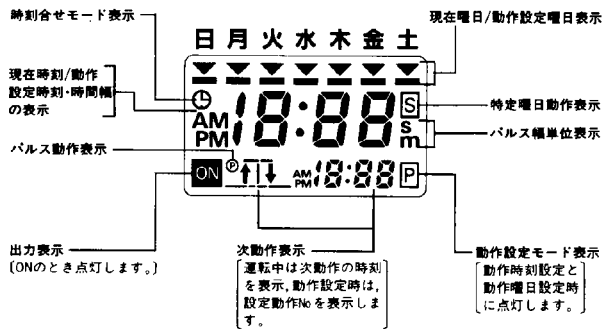
● **「分/パルス幅」** キー
「分」の設定、又は、パルス時間幅の設定をします。

● **「セット」** キー（設定内容をセットします。）

● **「曜日送り」** キー（▼を移動して曜日を指定します。）

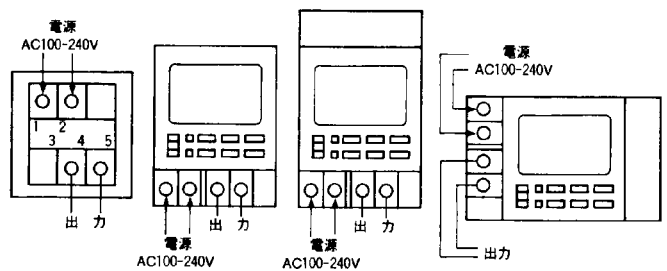
● **「特定曜日」** キー
「設定動作の「特定曜日」指定または、解除をします。」

■ 表示部



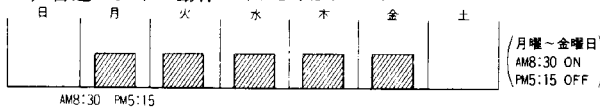
■ 接続部

● H5F-A（背面から見る） ● H5F-FA（正面から見る） ● H5F-KA（正面から見る） ● H5F-KAL（正面から見る）

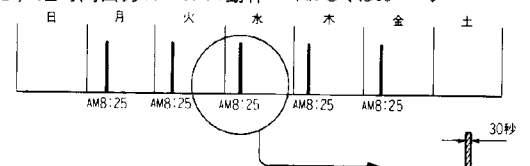


4 設定例

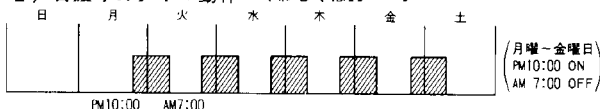
1) 普通のタイマ動作→くわしくは9ページ



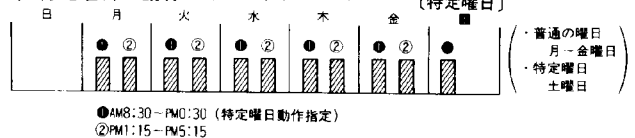
3) 短時間出力のパルス動作→くわしくは13ページ



2) 日渡りのタイマ動作→くわしくは11ページ



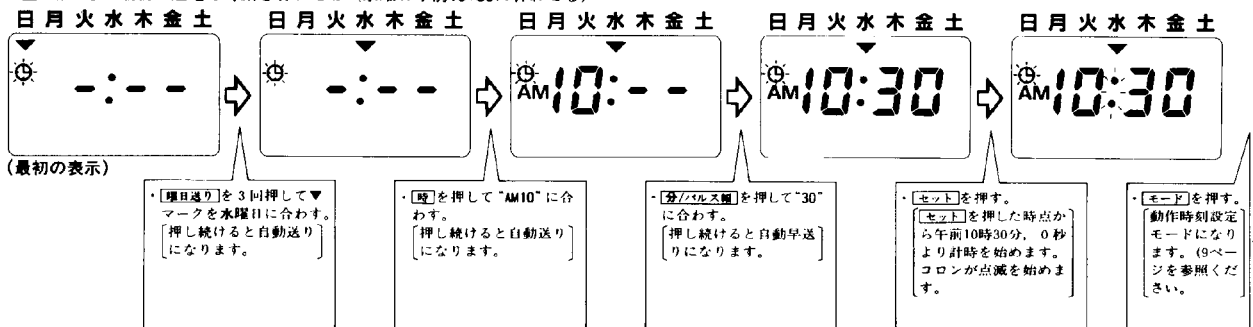
4) 特定曜日の動作→くわしくは15ページ



※タイマ動作とパルス動作の組合わせ設定はできません。

5 時刻を合わせる

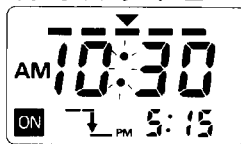
■ 購入して最初の通電で時刻を合わせる（水曜日午前10:30に合わせる）



5 時刻を合わせる

■ 運転中に時刻を合わせる (水曜日午前10:30→月曜日午前4:00に合わせる)

日月火水木金土



(運転中の表示)

・[モード]を1秒間以上押す。

日月火水木金土



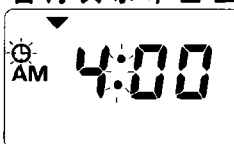
・[曜日送り]で月曜日に▼マークを合わせる。
・[時]、[分/パルス幅]にて"AM4:00"に合わせる。
[その時点の消力を保持しますので、設定内容を確認のうえ、操作してください。]

日月火水木金土



・[セット]を押す。
[セット]を押した時点から午前4時00分、0秒より計時を始めます。コロンが点滅を始めて設定内容に従った動作を再開します。

日月火水木金土



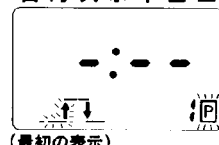
・[モード]を押す。
動作時刻設定モードになります。さらに[モード]を押して、もとの運転モードにもどします。

8

6 普通のタイマ動作をさせる

-----月曜日から金曜日までの毎日午前8:30にON、午後5:15にOFFさせる。

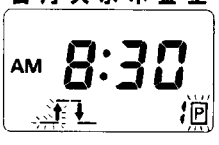
日月火水木金土



(最初の表示)

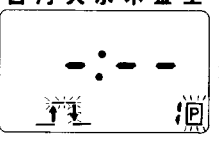
・[時]、[分/パルス幅]にて"AM 8:30"に合わせる。

日月火水木金土



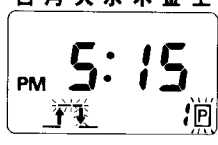
・[セット]を押す。
時、分のいずれかに未設定部分がある場合、[セット]を押しても入力されません。

日月火水木金土



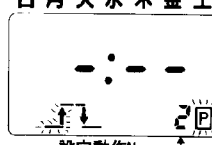
・[時]、[分/パルス幅]にて"PM 5:15"に合わせる。
[時]、[分/パルス幅]いずれかを押すと自動的にON時刻と同じ値を最初に表示します。

日月火水木金土



・[セット]を押す。
時、分のいずれかに未設定部分がある場合、[セット]を押しても入力されません。

日月火水木金土



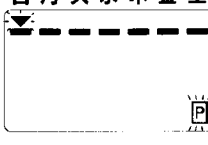
・[モード]を押して、動作曜日設定モードにする。

9

モード
動作曜日設定

モード
運転

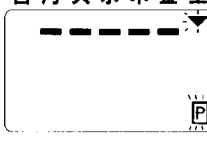
日月火水木金土



初期状態では全曜日が動作曜日(点灯)となっています。

・[曜日送り]と[セット]にて、日曜日から土曜日を非動作曜日にする。
[セット]を押すごとに曜日の動作指定が変わります。
[動作曜日 → 非動作曜日]

日月火水木金土



・[モード]を押す。
運転モードになり、動作を開始します。

日月火水木金土



(現在時刻が午前10時30分のとき)

※設定内容はON-OFF必ず一対で設定し、最大8組まで記憶できます。
※ON時刻だけ設定した後[モード]を押してモードを切替えると、設定したON時刻データは消去されます。

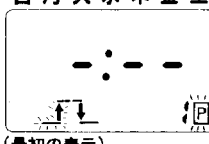
6

10

7 日渡りのタイマ動作をさせる

-----月曜日から金曜日まで毎日午後10:00にONし、翌日の午前7:00にOFFさせる。

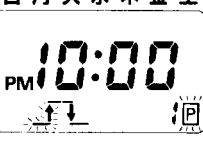
日月火水木金土



(最初の表示)

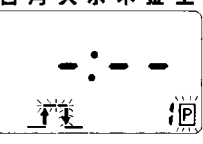
・[時]、[分/パルス幅]にて"PM 10:00"に合わせる。

日月火水木金土



・[セット]を押す。
時、分のいずれかに未設定部分がある場合、[セット]を押しても入力されません。

日月火水木金土



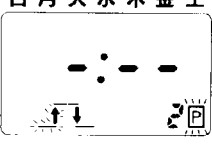
・[時]、[分/パルス幅]にて"AM 7:00"に合わせる。
[時]、[分/パルス幅]いずれかを押すと自動的にON時刻と同じ値を最初に表示します。

日月火水木金土



・[セット]を押す。
時、分のいずれかに未設定部分がある場合、[セット]を押しても入力されません。

日月火水木金土

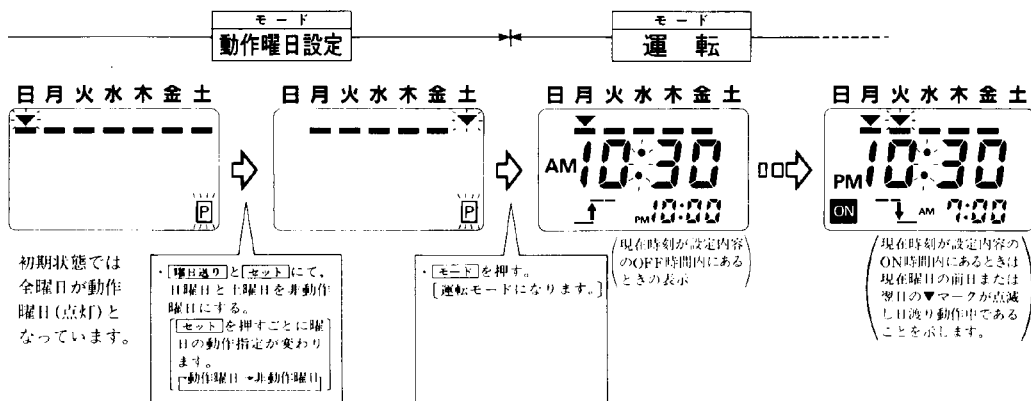


・[モード]を押して、動作曜日設定モードにする。

11

*モード切替えのくわしくは19ページ。

*モード
動作時刻設定



※ON-OFF時刻の設定がAM0:00をまたがって設定されると、日渡り動作を行います。
ON時刻の存在する曜日を動作曜日に指定してください。

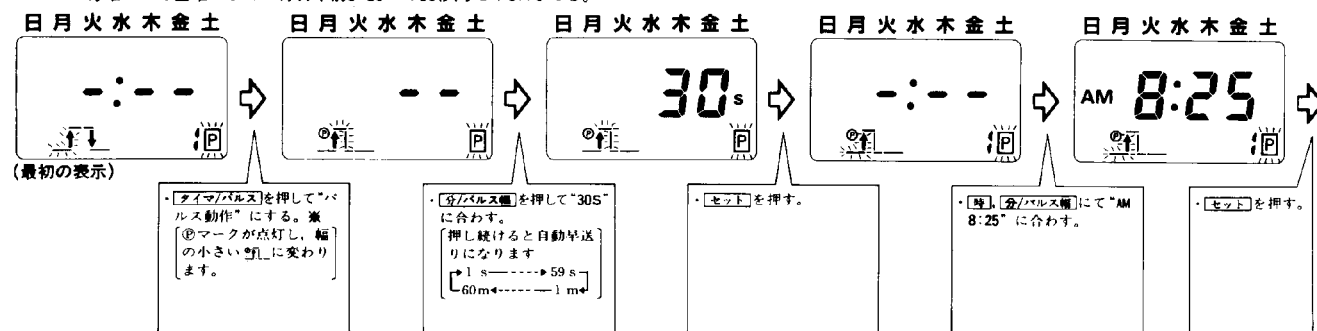
12

⑧ 短時間出力のパルス動作をさせる

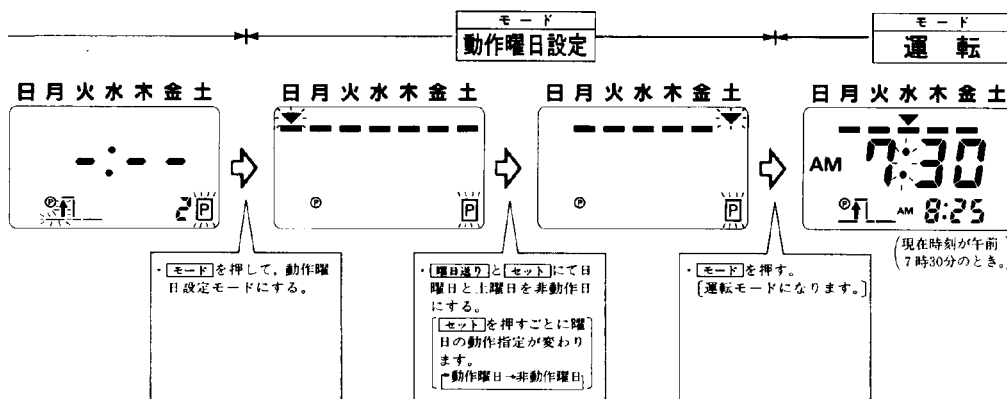
……月曜日から金曜日までの毎日午前8:25から30秒間だけONさせる。

*モード切替えのくわしくは19ページ。

モード
動作時刻設定



13



※タイマ動作とパルス動作の切替えは、動作時刻設定モードで[タイマ/パルス]を押すことにより実行できます。
(但し、それまでに設定されていた内容はすべて消去されます。
※パルス動作の場合はON-OFF16組まで記憶できません。

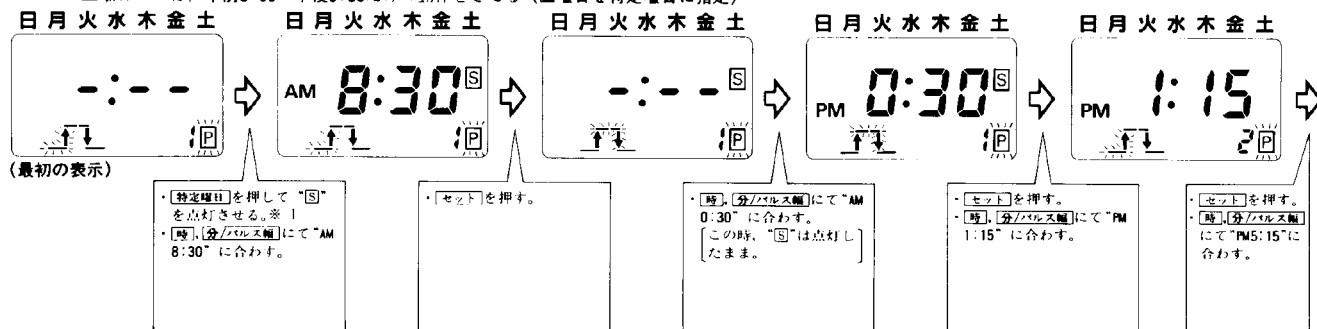
14

⑨ 特定の曜日だけ、設定動作のうちの一部の動作をさせる。

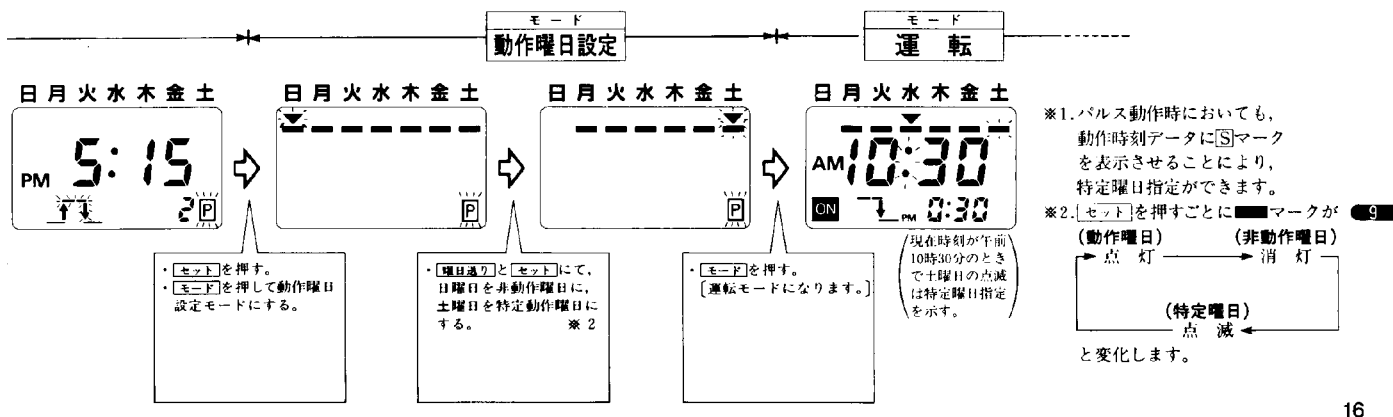
……月曜日から金曜日まで、午前8:30～午後0:30と午後1:15～午後5:15まで動作させ、土曜日のみは、午前8:30～午後0:30だけの動作をさせる(土曜日を特定曜日に指定)

*モード切替えのくわしくは19ページ。

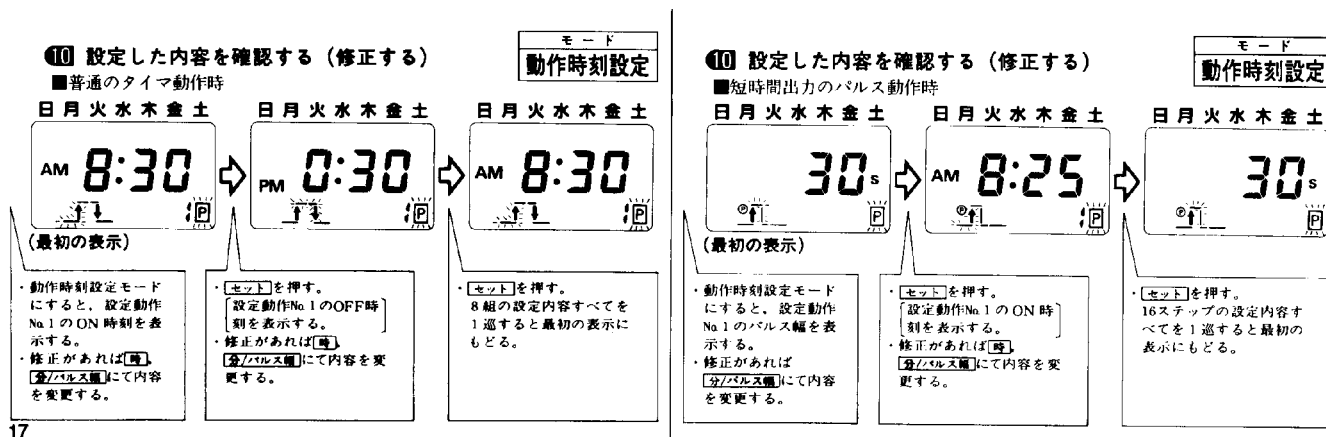
モード
動作時刻設定



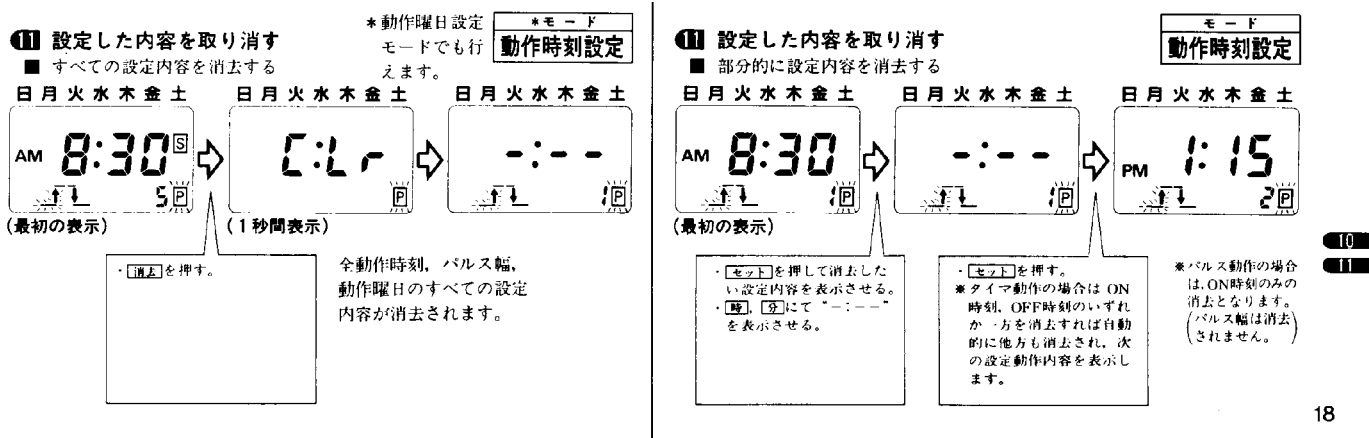
15



16



17

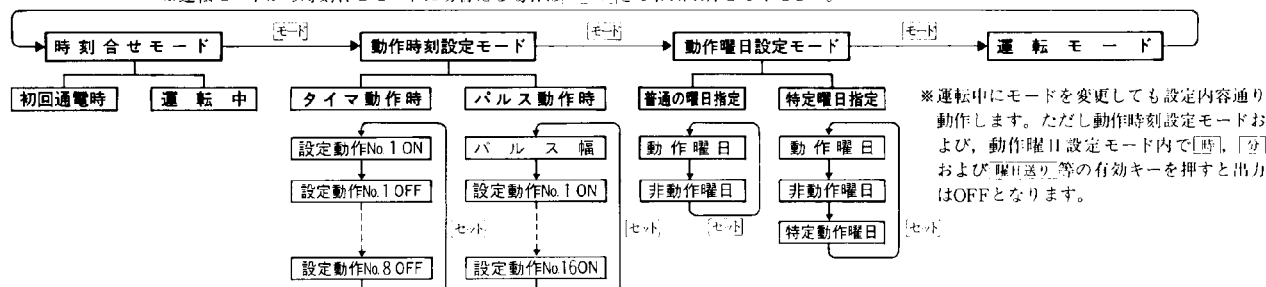


18

12 モードの切替えについて

モードの切替えは[モード]キーを押すごとに順次切替え(循環)を行います。

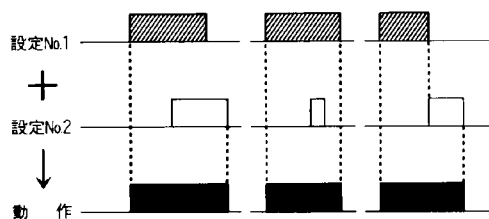
※ 運転モードから時刻合せモードに切替える場合は[モード]を1秒以上押ししてください。



19

13 設定上のご留意

- ・動作の設定が重なった場合、ON時刻の早いものが優先となり、OFF時刻はおそいものが優先となります。



※設定No.1, No.2が切れ目なしの連続出力となります。

- ・ON, OFF時刻が同一時刻となった場合は、設定はできますが動作はしません。

(例：ON時刻＝月曜日の午前10時30分、OFF時刻＝月曜日の午前10時30分)

- ・設定後に「タイマ/パルス」を押して、タイマ/パルス動作の切替えを行うと、設定した内容が消えます。

- ・停電中には出力はOFFし、表示も消灯します。

14

お願い

- (1)負荷容量は負荷の種類によって異なります。定格の欄を参照の上、定格以下でご使用ください。
- (2)電源側には「電気設備に関する技術基準」「労働安全衛生規則」などの関連法規に従って、保護装置(漏電しゃ断器、配線用しゃ断器、ヒューズなど)を設定してください。
- (3)H5F-KA, H5F-KALをご使用いただく場合は必ず適格なボックス内に入れて、お使いください。
- (4)ヒーター等を使用する場合は、必ず負荷回路にサーモ・スイッチをご使用ください。

正しい使い方

- (1)次のような場所でのご使用は避けてください。
周囲温度が-10℃以下、+55℃以上の場所
塵埃の多い場所 湿気の多い場所
腐食性ガスの発生する場所 振動・衝撃の大きい場所
水・油のかかる場所 直射日光の当たる場所
- (2)電氣的ノイズの多く発生する環境下でご使用になる場合は、ノイズ発生源、ノイズがのった強電線から、入力信号線およびタイムスイッチ本体を離してください。
- (3)誘動負荷を開閉する場合、タイムスイッチの誤動作・破壊を防止するためにサージ吸収素子をつけてください。
- (4)タイム本体の外装は有機溶剤(シンナ、ベンジンなど)、強アルカリ(アンモニア、苛性ソーダ)、強酸性物質に侵されるためご注意ください。

15 定格・性能

定 格 電 圧	AC100-240V, 50/60Hz	最 小 間 隔	1 分 間
消 費 電 力	約 2 VA	動 作	ON/OFF動作 16動作(ON-OFF8組)
回 路 数	1回路独立	パルス動作	16動作
回 路	電源回路と別回路	定 時	1～59秒まで1秒単位または1～60分まで1分単位で設定可能
負 荷 容 量	抵抗 250V, 15A	停 電 補 償	連続5年以上(at25℃)
白 熱 灯	100V・300W	月 差	±15秒 (at25℃)
誘 動 負 荷 (cosφ=0.7)	250V, 10A	使 用 周 圍 温 度	-10～+55℃
モ ー タ (cosφ=0.7)	100V-400W, 200V-750W	保 存 周 圍 温 度	-25～+65℃
構 成	単極単投1組	セ ッ ト 誤 差	±0.01%±50ms以内
電 源 変 動 範 囲	定格電圧の85～110%		

16 設定内容の記録 (メモ)

	AM												PM											
日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								